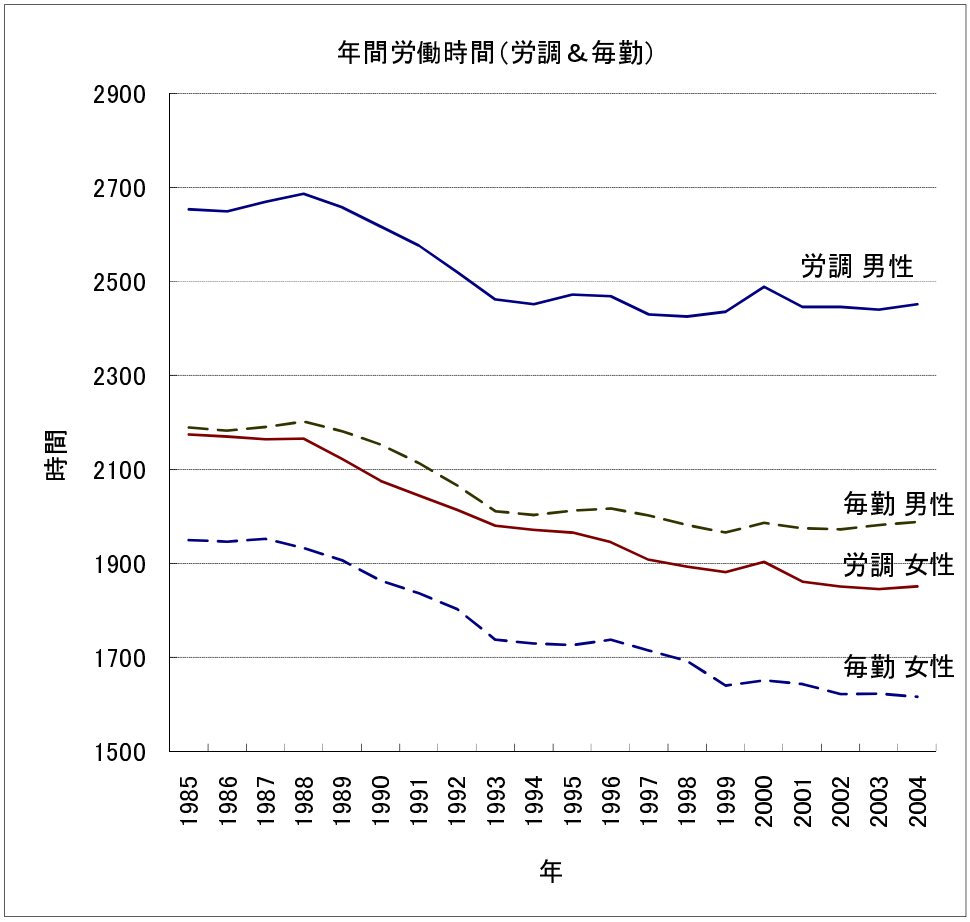
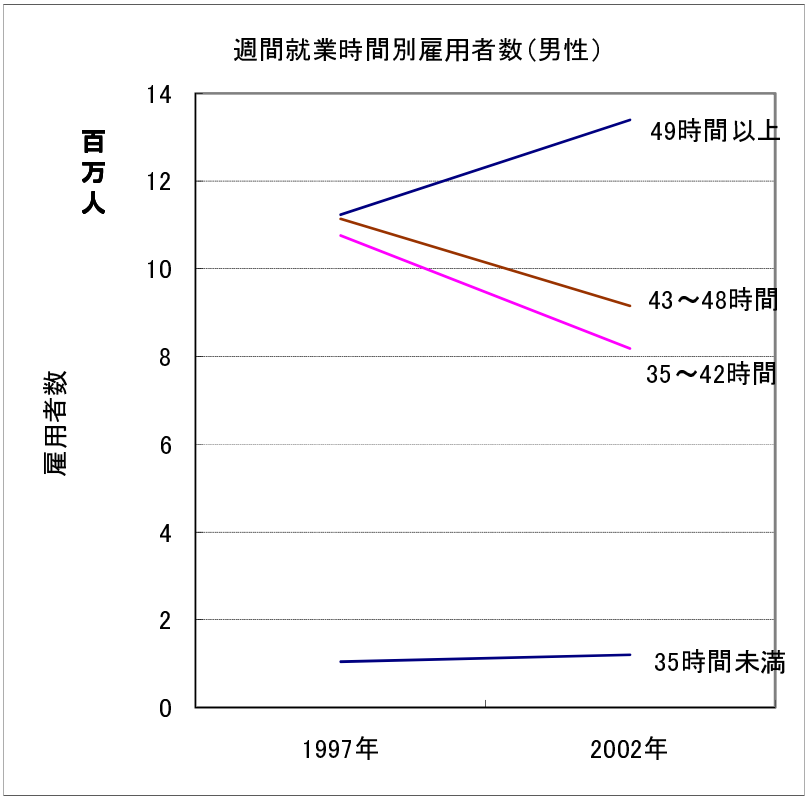
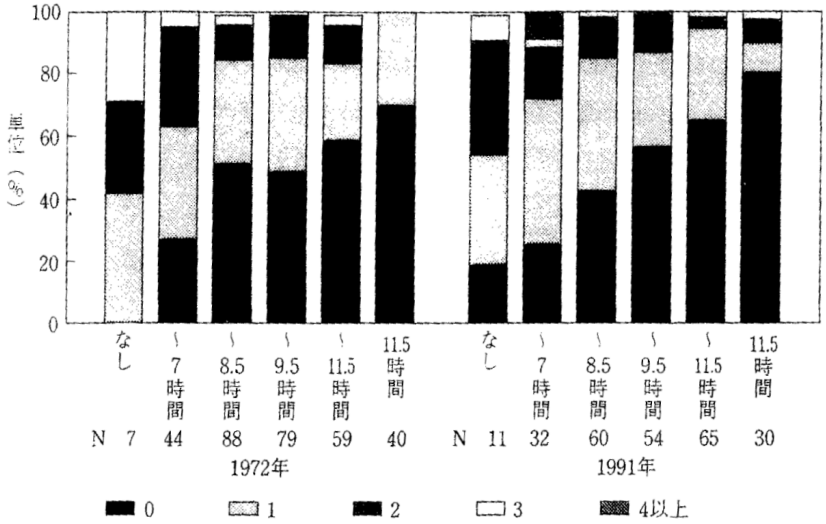

年間労働時間（労調＆毎勤）
2900
2700
2500
2300
2100
1900
1700
1500
時間
労調 男性
毎勤 男性
労調 女性
毎勤 女性
1985
1986
1987
1988
1989
1990
1991
1992
1993
1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
年

資料①

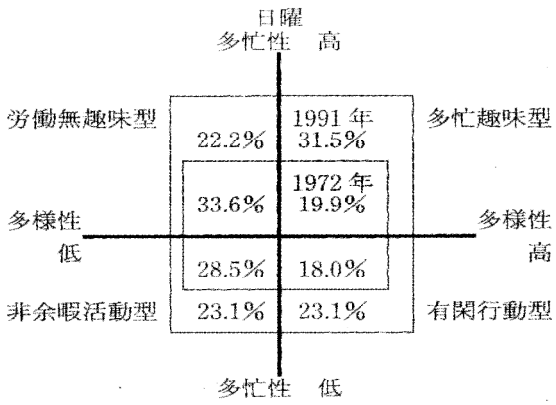

週間就業時間別雇用者数（男性）
14
12
10
8
6
4
2
0
百万人
雇用者数
49時間以上
43～48時間
35～42時間
35時間未満
1997年
2002年

資料②

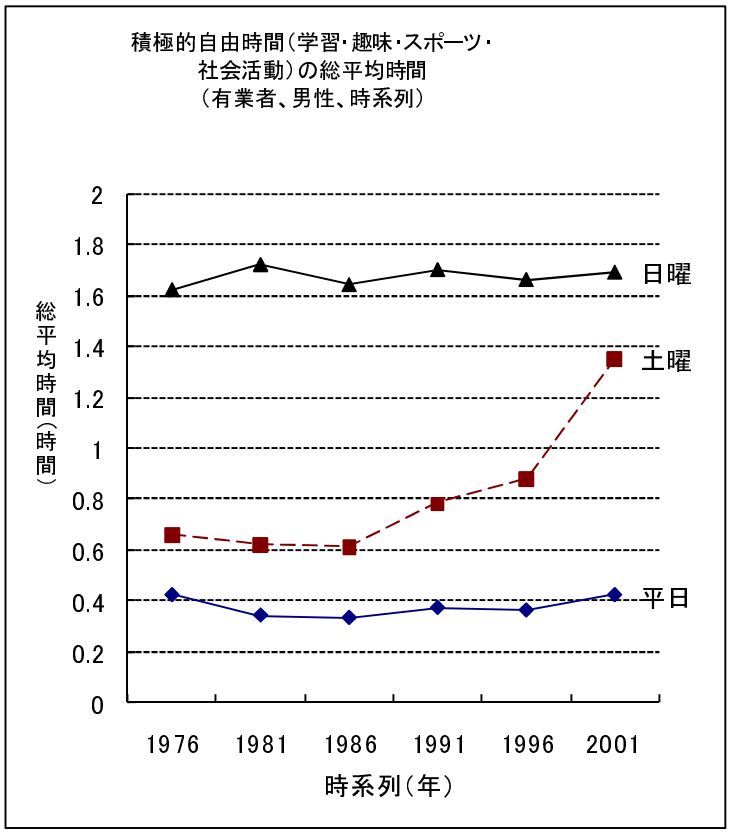
図5・2　仕事時間別にみた選択的余暇活動の種類数（平日・有職男性）



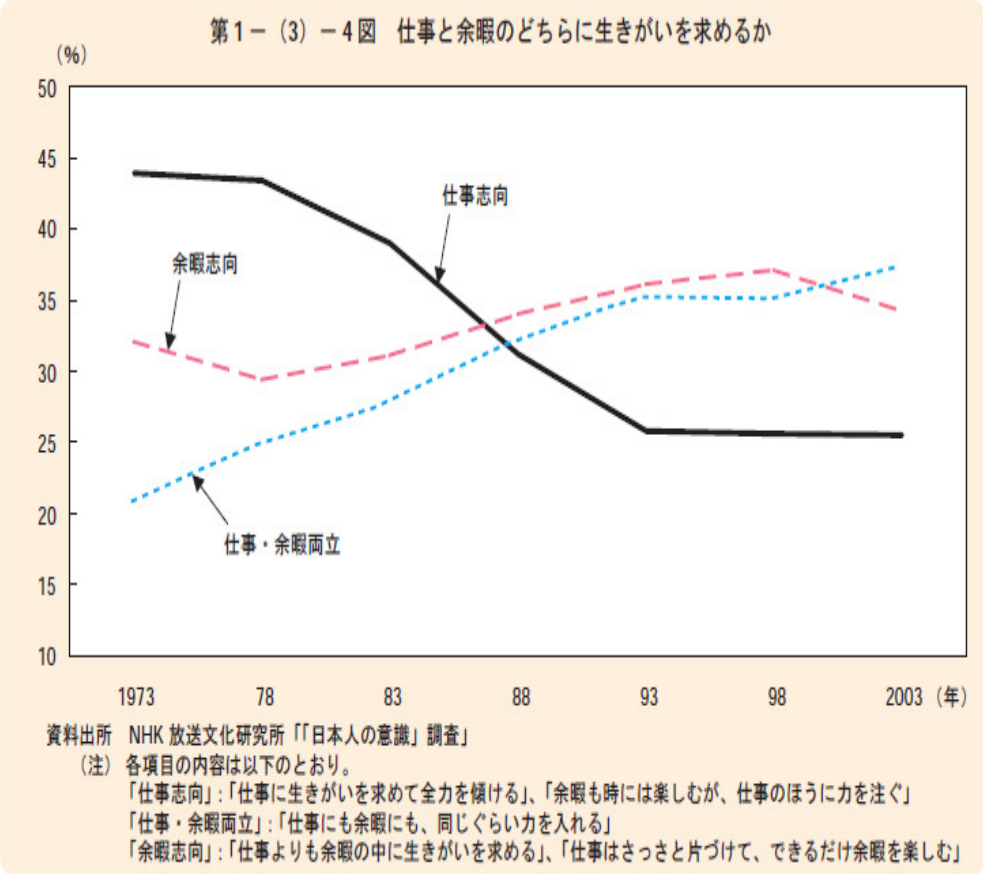
資料③



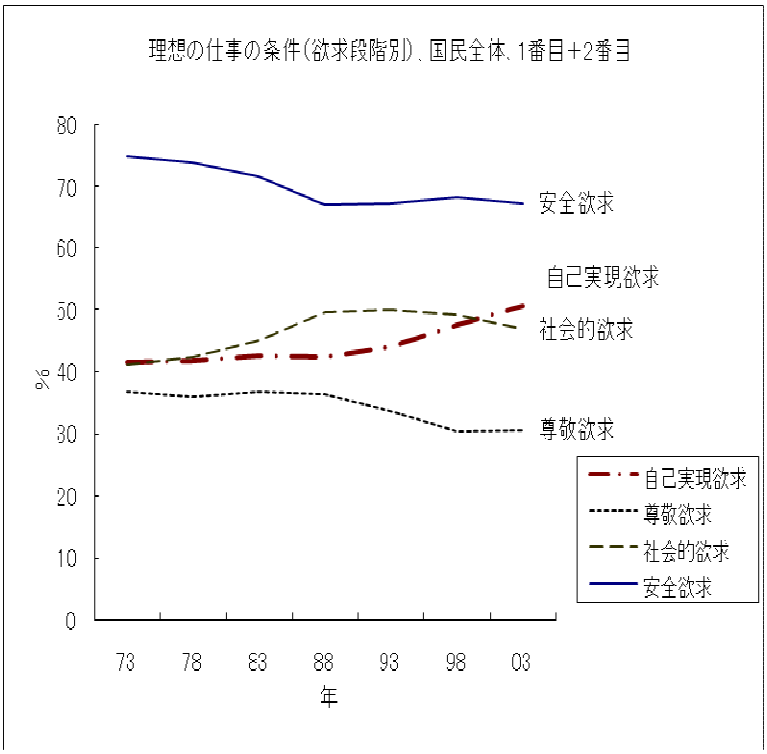
資料④



資料⑤


第1－（3）－4図　仕事と余暇のどちらに生きがいを求めるか
（%）
50
45
40
35
30
25
20
15
10
仕事志向
余暇志向
仕事・余暇両立
1973
78
83
88
93
98
2003（年）
資料出所　NHK 放送文化研究所「「日本人の意識」調査」
（注）各項目の内容は以下のとおり。
「仕事志向」:「仕事に生きがいを求めて全力を傾ける」、「余暇も時には楽しむが、仕事のほうに力を注ぐ」
「仕事・余暇両立」:「仕事にも余暇にも、同じぐらい力を入れる」
「余暇志向」:「仕事よりも余暇の中に生きがいを求める」、「仕事はさっさと片づけて、できるだけ余暇を楽しむ」

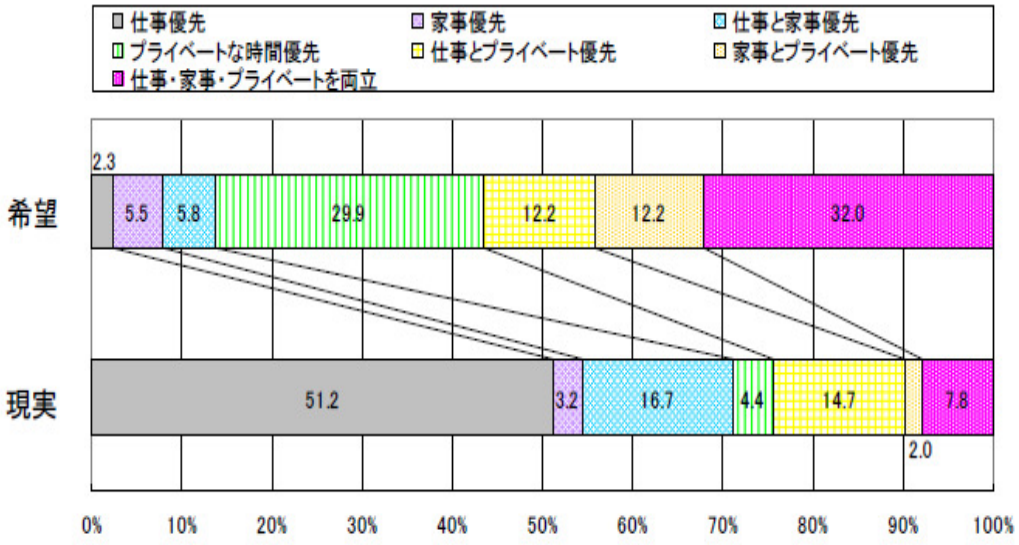
資料⑥


理想の仕事の条件(欲求段階別)、国民全体、1番目+2番目
80
70
60
50
40
30
20
10
0
%
安全欲求
自己実現欲求
社会的欲求
尊敬欲求
自己実現欲求
尊敬欲求
社会的欲求
安全欲求
73
78
83
88
93
98
03
年

資料⑦

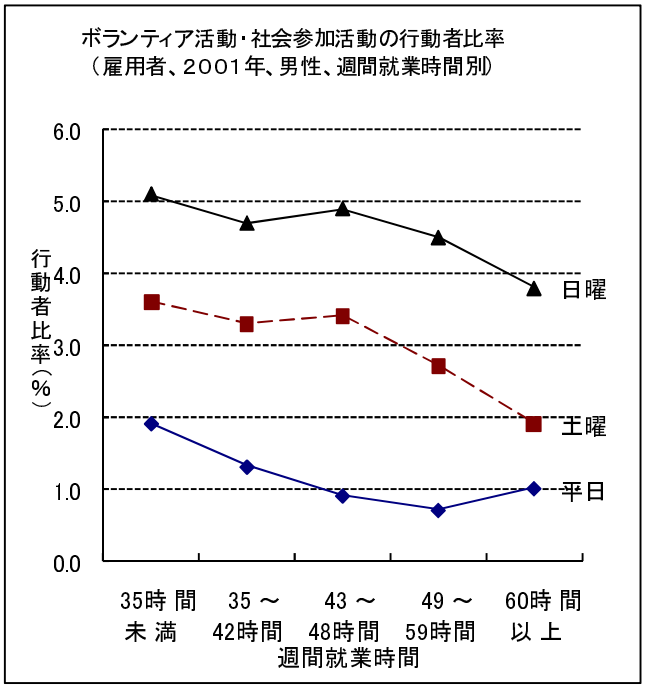
既婚者の男性において、生活のなかで「仕事優先」を希望する人の割合は約2%に過ぎず、「仕事・家事・プライベートを両立」を希望する人が約32%を占めている。しかし、現実には、5割以上の人が「仕事優先」となっており、希望と現実の間に大きな乖離が見られる。

図表4　ワーク・ライフ・バランスの希望と現実（男性：既婚有業　n=1,929）

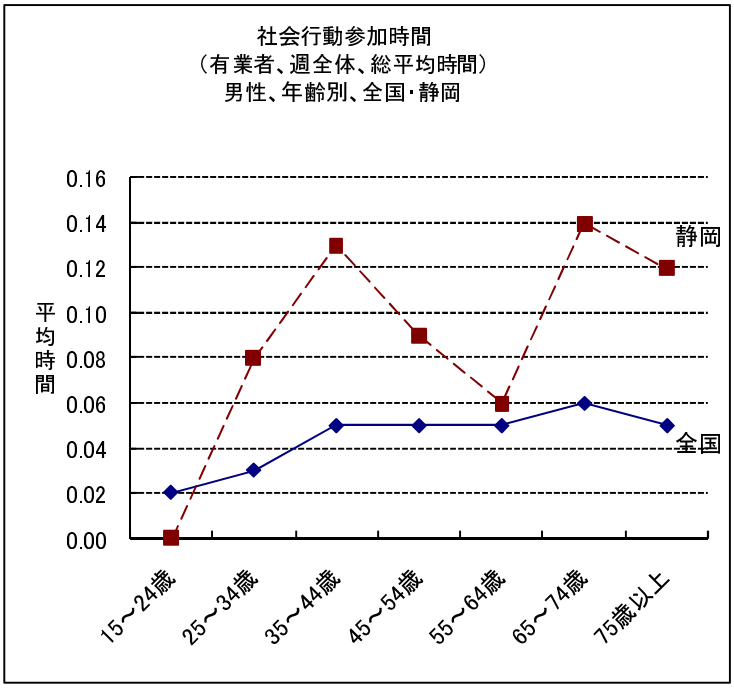


（資料）少子化と男女共同参画に関する専門調査会「少子化と男女共同参画に関する意識調査」平成18年より作成。
（備考）「生活の中での、仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）の優先度についておうかがいします。『現実』としての優先度と、『希望』の優先度について、あなたのお考えや現状に最も近いものを、1つずつお選び下さい」への回答。

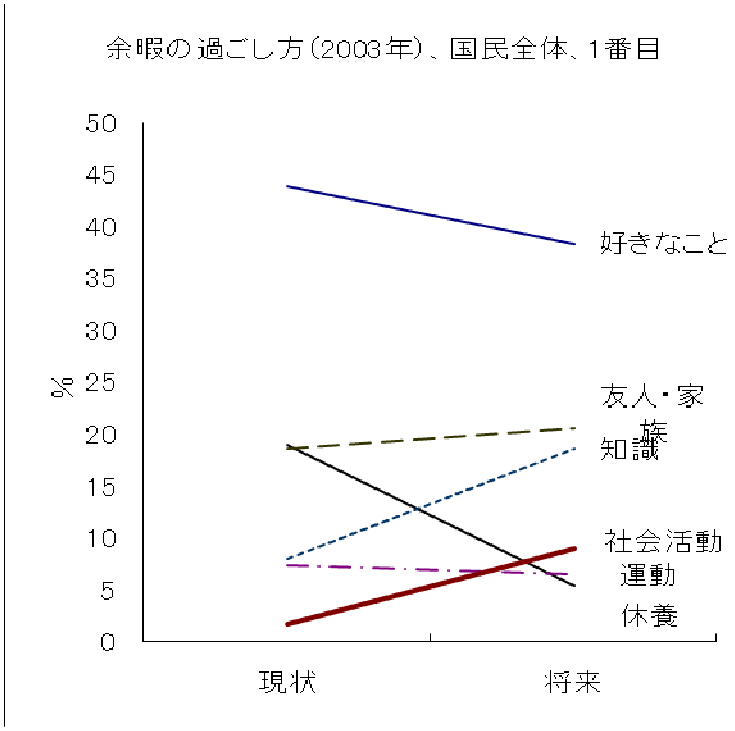
資料⑧



資料⑨


社会行動参加時間
（有業者、週全体、総平均時間）
男性、年齢別、全国・静岡
平均時間
0.16
0.14
0.12
0.10
0.08
0.06
0.04
0.02
0.00
静岡
全国
15～24歳
25～34歳
35～44歳
45～54歳
55～64歳
65～74歳
75歳以上

資料⑩


余暇の過ごし方（2003年）、国民全体、1番目
%
50
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
好きなこと
友人・家族
知識
社会活動
運動
休養
現状
将来

資料⑪